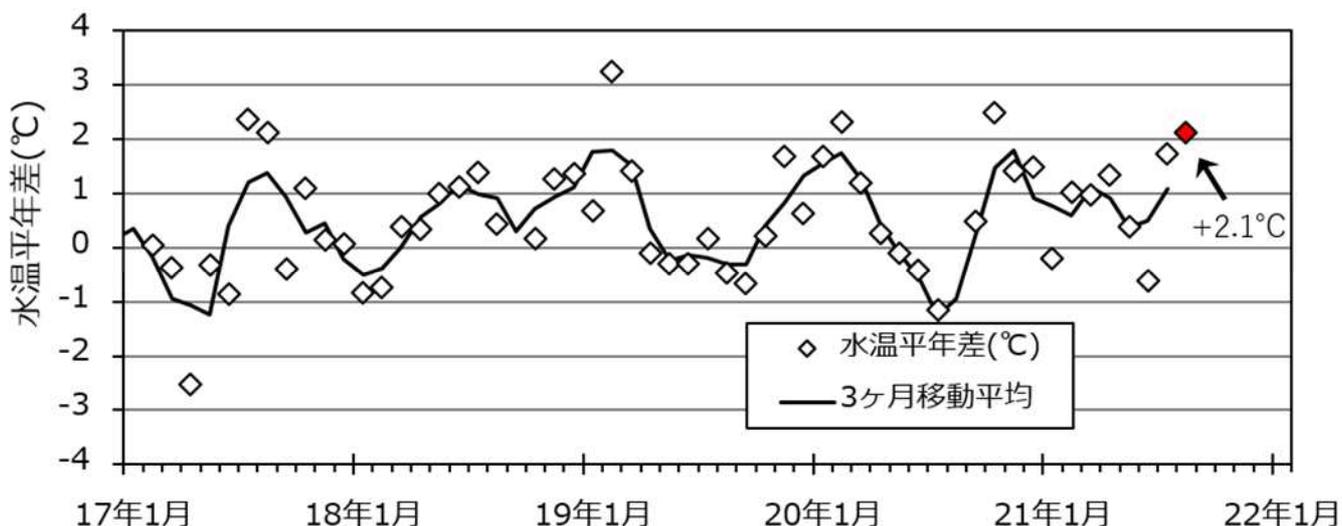


## 【水温の変動】

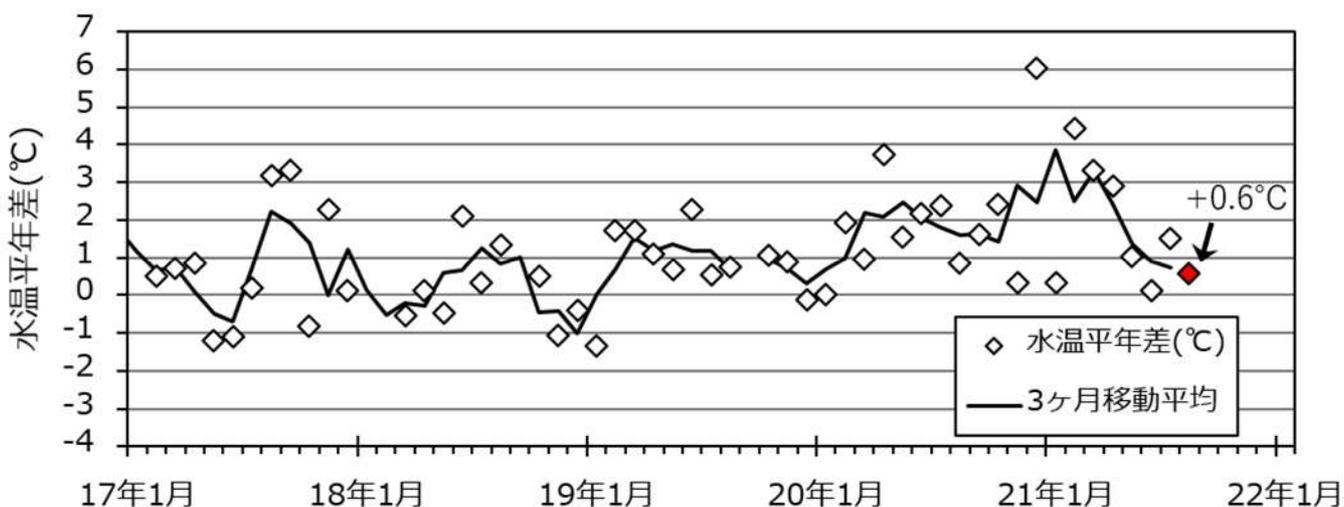
8月4、5日に、調査船海幸丸により渥美外海の観測を実施しました。湾口部では平年差+2.1℃で高め、沖合域では平年差+0.6℃でやや高めでした。

8月5日の人工衛星画像によると、黒潮は遠州灘沖を北緯31度付近まで南下した後、八丈島の西側を北上して御前崎に接近し、その後房総半島沖へ流れています。現在、御前崎沖の黒潮の屈曲部から遠州灘沖へ暖水が波及している影響で、渥美外海は高温傾向となっています。また、沿岸湧昇がみられず、湾口部の水温は高めとなっています。

### 湾口部表層（A1）における水温平年差の変動



### 沖合域水深 200m（A4, A12, A19 の平均）における水温平年差の変動



※水温平年差は過去10年平均値との差

## 【渥美外海の海況】

渥美外海の水温は、表層で 28.3~29.8°C、水深 100m で 17.0~18.1°C、水深 200m で 12.7~13.6°C となっていました。水温の鉛直断面図をみると、等温線に目立った傾きはなく、全体的に顕著な流れは弱い模様です。また、クロロフィル a 濃度は、沿岸域 (A1) の水深 10m 付近が最も高く、中間域から沖合域にかけては、水深 50m 付近に極大層が見られました。

## 水温の水平分布図と水温, 塩分, 密度の鉛直断面図

